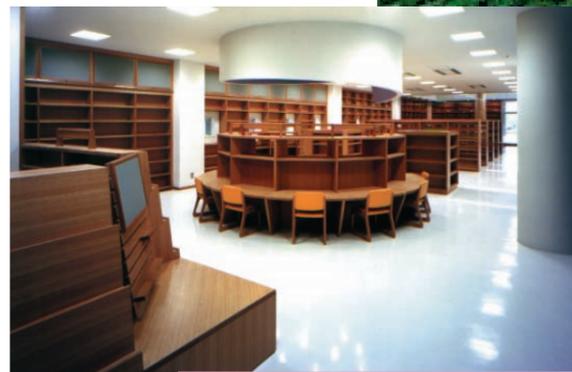




史料展示室



図書館 閲覧室



創作工房

建築概要

敷地面積 46,208.84㎡
 建築面積 3,396.10㎡
 延床面積 4,286.15㎡
 構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、木造（地上3階）
 施工期間 平成8年9月～平成10年3月



舞台照明設備 施工

正面玄関



〒028-8602
 岩手県九戸郡山形村大字川井13-38
 Tel.0194-72-3711
<http://www.rnac.or.jp/~yamagata/>



株式会社 松村電機製作所

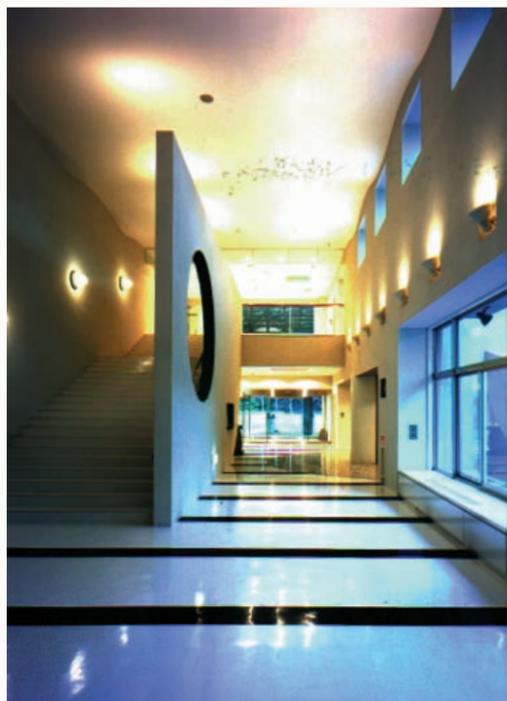
<http://www.matsumuradenki.co.jp>

ISO9001:2000認証
 JUSE-RA-1041

本社 〒113-0031 東京都文京区根津2-12-1 TEL03(3821)6169(代) FAX03(5685)3144
 東京支店 〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17井門池之端ビル4階 TEL03(3821)6161(代) FAX03(3821)6186
 関西支店 〒530-0043 大阪市北区天満2-12-16 TEL06(6352)0245(代) FAX06(6352)2972
 中部支店 〒460-0008 名古屋市中区栄4-7-10栄第8ロイヤルビル TEL052(265)1591(代) FAX052(265)1590
 九州支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-15-20EMビル博多駅前ビル TEL092(451)3831(代) FAX092(451)3829

東北支店 〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-6-2KJビルディング TEL022(221)7791(代) FAX022(267)6892
 中国支店 〒730-0032 広島市中区立町1-2-0広島立町JNOFビル TEL082(245)8161(代) FAX082(245)1537
 札幌営業所 〒060-0063 札幌市中央区南三条西3-8-1スワン札幌ビル TEL011(210)9561(代) FAX011(210)9562
 沖縄営業所 〒900-0033 那覇市久米1-15-1上山ビル TEL098(860)6377(代) FAX098(860)6392
 MVF#2課 〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17井門池之端ビル4階 TEL03(3821)6161(代) FAX03(3821)6186
 サービスセンター 〒125-0052 東京都葛飾区柴又3-5-6 TEL03(3607)2166(代) FAX03(3627)2505

東北建築賞 作品賞受賞 「おらほーる」



ロビー



◆ひとことPR

株式会社 ゼロ建築都市研究所 後藤 茂 さんに伺いました

山形村は、盛岡から北東に約100km、人口約3800、高齢化のすすむ村です。山林が94%を占め平坦地の少ない自然豊かな環境です。曲がり家や茅葺き家屋が、今日でも僅かながら残り、伝統や生活文化を感じさせてくれます。

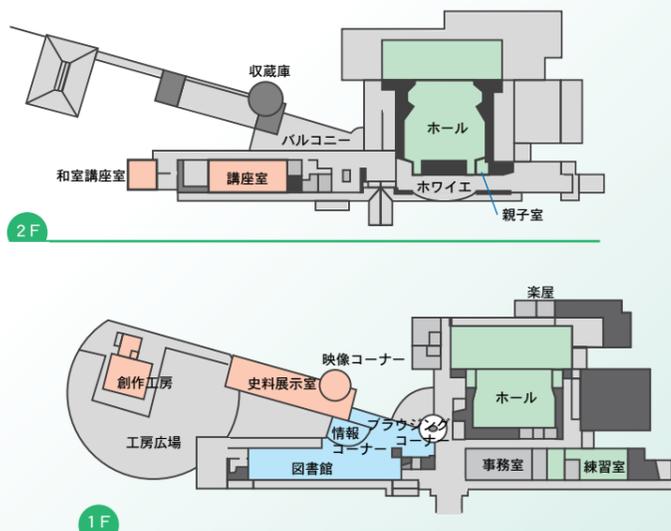
おらほーるは、こうした環境の中にある生涯学習施設で、役場や老人福祉センターにも隣接し、村の中心部にあります。外観は、周辺環境に重なり合うように集落形態を反映し、分散と集合が織りなすもう一つの集落を形づけています。

延べ床面積は4300㎡。村の小中学校の生徒数と同じ400席の多目的ホール、3万冊の図書館、展示室、工房、講座室の5つの機能で構成され、基本コンセプトは、村人たちのたまり場「もう一つの学校」です。用があってもなくても、ここにくれば何かがある。情報交換と発見の場です。ですから外観には、木材を用い親しみやすさを高め、森林豊かな村のイメージを表出しました。一方、内部はエントランスロビーや劇場ホワイエ等、外観の地域性とは対称的に、都市的で軽やかな活動しやすい空間です。エントランスロビーには、図書館、情報コーナー、ブラウジングスペース、展示室が、壁もなく一体的につながり、人々の出合いを誘発します。中庭の芝生広場へもつながり、別の開口部からは工房棟まで見通せます。機能にこだわらず内も外もが交じり合う空間をつくり、人々の出合いの場とすること、これを第一テーマとしました。

第二テーマは、こうしたあいまいな空間領域にアイデンティティをもたらすオブジェ、記憶のシンボルの導入です。図書館の座式閲覧室には、地元で伐採された松の木がそびえ立ち、ホワイエの白い壁面には、村の鳥、山鳥がグラフィックデザインされています。鉄骨トラス天井の展示室には、荷づくり板の展示壁面が広がります。外観の地域的土着性、内部の都市的同時代性、その中に配置されたオブジェは村固有の土着性、という三重の輪が交わっています。外構にも多彩なオブジェが配置されています。

第三のテーマは、とき、時間デザインとして、住民の自主利用を高めていくプロセスを盛り込みました。設計期間には、用意されていた建築プログラムの修正を関係者の皆さんと共同で行ない、工事中にはシンポジウムを開催し、おらほーるの広報につとめました。竣工後は、オープン式典の前に住民主導によるイベントを開催しました。

名実ともに、公募で決められた名称、おらほのホール「おらほーる」になることを願い、応援します。



図書館 閲覧室 吹き抜け
(山から切り出された松の木を加工)

施主 岩手県九戸郡山形村
設計監理 株式会社 ゼロ建築都市研究所
オープン 平成10年7月

◆舞台概要

客席数 394席
舞台 間口 12.6m 高さ 6.3m 奥行 9m

◆舞台照明設備概要

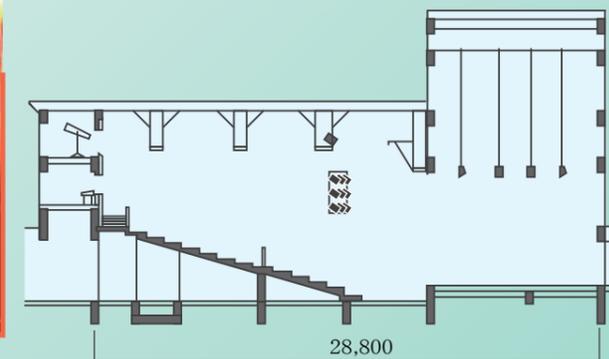
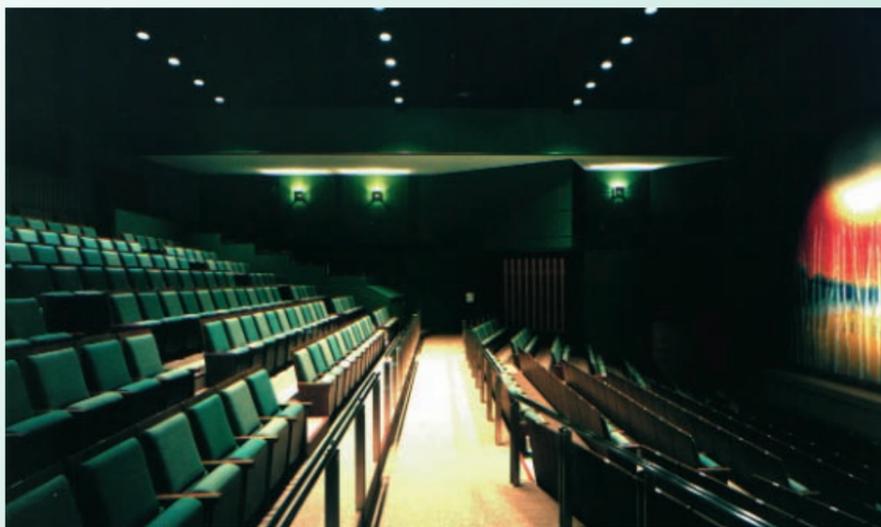
トランス容量 150 kVA
主幹容量 MCCB 4P 400AF/400AT
舞台用調光器 3kW×65台
客席用調光器 2kW×7台
舞台負荷回路 調光 65回路、直 2回路

◆調光操作卓

マスタフェーダ：1本
A/Bクロスフェーダ：1組
グループフェーダ：4本（フラッシュスイッチ付）
プリセットフェーダ：36本×3段
パッチ操作部：1式（4場面記憶）
PFG切替スイッチ：36コ
フラッシュスイッチ：36コ
客席自動調光操作スイッチ：1式
作業灯スイッチ（舞台・客席用）

◆舞台袖操作パネル

マスタフェーダ：1本
フリーフェーダ：6本
客席自動調光操作スイッチ：1式
作業灯スイッチ（舞台・客席用）
直/調切替スイッチ：4コ



第19回 東北建築賞（作品賞）選考報告

選考委員長 若井 正一氏 の原稿からの抜粋

応募作品は個人住宅、集合住宅、学校、病院、庁舎、福祉施設、スポーツ施設等多彩なものであった。その中でいくつかの作品に、敷地周辺の景観保全や自然環境との調和などに積極的に取り組んだ工夫がみられ、選考段階で論議の対象となった。

応募作品は29点。公開による作品発表後、従来の選考基準を確認し各選考委員が概評を行った。その後、応募作品の中から現地審査を行い、第2次審査の対象となるものを無記名投票で16作品に絞り込んだ。そして、また、各賞を選考するための無記名投票が行われ、その結果8作品が選定された。この段階で得点上位の3作品を作品賞とすることを全会一致で決定した。残った5作品については作品賞と佳作の選別を投票し、最も得票した1作品を作品賞に加え、他の4作品の得票が拮抗していたため今回は佳作を規定より1点多い4点とすることを全会一致で決定した。

「おらほーる 山形村山村文化交流センター」審査評

豊かな自然の山並みに囲まれた中に建っている。主な機能はホールと図書館と公民館を持つ複合施設であるが、この種の施設にありがちな複雑さがなく、全体的にわかりやすい。1階にホールと図書館、2階に公民館を配置しており、この配置の工夫が全体のまとまりを創り出している。外観は、切妻屋根と陸屋根がバランス良く構成され、外壁の黒塗りの杉板とともに周囲の景観に見事に調和している。特に、雪の中に建つ姿は美しい。